

政策目標5 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街

重点課題

施策の基本方針

1

札幌の特色を活かした文化芸術の振興

豊かな自然、冷涼な気候、情報に鋭敏な感性、進取の気風からはぐくまれる札幌の特色を活かして、多様な文化芸術を享受できるまちづくりを目指し、市民が街のいたるところでさまざまな文化芸術を楽しみながら実践し、表現・発信できる環境づくりを行います。また、市民や企業、NPO*などのさまざまな文化芸術活動や相互の交流を促進するとともに、札幌の文化芸術の魅力を国内外に積極的に発信していきます。さらに、地域の優れた自然、文化、史跡などの文化遺産の保存と活用を推進するとともに、先住民族文化への市民理解の促進を図ります。

2

スポーツを楽しむ環境の充実と健康づくりの推進

生涯にわたり、市民の誰もが気軽にスポーツを楽しむことができるよう、地域住民が主体となった地域スポーツクラブの育成など、多様な市民ニーズに合わせたスポーツを楽しむ環境づくりを進めるとともに、市民の健康づくりを支援します。また、冬季スポーツの拠点機能の充実を図り、札幌ならではの冬のスポーツの新たな楽しみ方を発信します。

3

将来を見据えた魅力ある都市の整備

都市の持続的な発展を目指し、市民・企業・行政が一体となって、都心の魅力と活力を高めるために実効性のあるまちづくりを進めるとともに、市民の日常生活を支える地域の拠点機能を再整備し、道都にふさわしい風格のある街並みとにぎわいを創出します。また、公共交通機関を軸とした交通体系の確立を図り、人と環境を重視した快適で美しい街の実現を図ります。

4

新たな集客交流資源の創出と魅力の発信

世界の集客交流都市さっぽろの実現を目指し、札幌の魅力である、食や自然、文化芸術などのハード・ソフトの資産を集客交流資源として積極的に活用し、札幌独自の魅力づくりや観光資源の発掘を行うとともに、受入対応を充実するなど、観光やコンベンション*の一層の振興を図ります。また、道内各市町村とも連携して道内各地の食や観光などの情報を発信する拠点機能を充実するなど、集客交流を推進します。

*コンベンション 大会、会議、展示会、見本市、イベントなどの非日常的な人の集まりを核として、人や物、知識、情報、技術を呼び込むしくみ。



重点課題 1 札幌の特色を活かした文化芸術の振興

施策と事業

施策の基本方針

豊かな自然、冷涼な気候、情報に鋭敏な感性、進取の気風からはぐくまれる札幌の特色を活かして、多様な文化芸術を享受できるまちづくりを目指し、市民が街のいたるところでさまざまな文化芸術を楽しみながら実践し、表現・発信できる環境づくりを行います。また、市民や企業、NPO*などのさまざまな文化芸術活動や相互の交流を促進するとともに、札幌の文化芸術の魅力を国内外に積極的に発信していきます。さらに、地域の優れた自然、文化、史跡などの文化遺産の保存と活用を推進するとともに、先住民族文化への市民理解の促進を図ります。

重点課題 1

札幌の特色を活かした文化芸術の振興

施策1 多様な文化芸術に親しみ、交流・発信する環境づくり

施策2 市民が自ら作り上げる文化活動の振興

施策3 文化遺産の保存・活用と伝統文化、先住民族文化の継承

施策1 多様な文化芸術に親しみ、交流・発信する環境づくり

サッポロ・シティ・ジャズやさっぽろアートステージ事業の開催など、優れた芸術やさまざまな文化活動まで、市民が多様な文化芸術に触れ、親しむことのできる機会を一層充実させます。

また、小学校跡施設を活用した文化活動の拠点づくりなどの環境づくりを進めるとともに、市民や観光客への情報発信機能を充実させるなど、札幌の文化芸術の魅力を活用・発信し、集客交流を促進します。

| 事業名・担当部 (計画事業費) | 事業内容 達成目標 |
|---|---|
| サッポロ・シティ・ジャズ 観)文化部 [33百万円] | 札幌独自の都市型ジャズフェスティバルを創造していくため、7月下旬から8月上旬に、芸術の森でのライブのほか市内各所で行う市民参加型のパークジャズライブや、海外ジャズフェスティバルとの交流、ワークショップ*などの教育プログラムを開催し、ジャズが似合う街さっぽろを世界に発信します。 ○イベント観客動員数 H18：4,000人 ⇒ H22：10万人 ○市民ボランティア登録者数 H18：－ ⇒ H22：600人 ○パークジャズライブ参加者数 H18：65人 ⇒ H22：3,000人 |
| パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費補助 観)文化部 [658百万円] | 世界の3大教育音楽祭として成長を続けているパシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）に対して、事業費の補助による支援を行います。 ○PMFで指導を受けるためのオーディション（オーケストラコース）応募者数 H18：1,348人 ⇒ H22：1,468人 |
| 札幌交響楽団運営費補助事業 観)文化部 [－] | 札幌コンサートホールKitaraを中心に、広く市民に優れた音楽鑑賞機会を提供するなど、札幌市の文化芸術の振興に大きく寄与している札幌交響楽団に対して、運営費の補助を行います。 ○公演への観客数 H18：131,464人 ⇒ H22：135,000人 |

| 事業名・担当部 (計画事業費) | 事業内容 達成目標 |
|---|---|
| さっぽろアートステージ事業 観)文化部 [93百万円] | 11月を文化芸術月間と位置づけ、市内各所において、演劇・音楽・美術などの文化芸術イベントを集中的に開催することによって、街中に文化芸術によるにぎわいを創出します。 ○鑑賞者数 H18：341,898人 ⇒ H22：36万人 |
| カルチャーナイト事業への協力 観)文化部 [-] | 普段は夕方まで閉館する文化的な施設を夜間開放し、市民にさまざまなイベントに親しんでもらうカルチャーナイト事業に対して、所管する文化施設などの夜間開放や広報などの協力を行います。 ○本市の参加施設数 H18：21施設 ⇒ H22：30施設 |
| 公立文化施設活性化推進事業(芸術の森ART BOX) 観)文化部 [20百万円] | 芸術の森野外ステージに600席程度の仮設スタンド席(ART BOX)を設置し、「アート ^{アートボックス} の玉手箱」をコンセプトとして芸術の森の自主公演や市民制作の公募公演など各種舞台公演を行います。 ○週末の施設利用率 H18：57.4% ⇒ H22：60.0% |
| 創成川アートワーク*事業 観)文化部 [58百万円] | 創成川通アンダーパス*連続化事業により生まれる親水緑地空間に、アートの要素を組み込むため、基本計画の策定や委嘱作家による作品制作を行います。 ○アートワークの設置 H18： - ⇒ H22：設置 |
| (仮称)SAPPOROアート&コミュニティセンター整備事業 市)企画部 [324百万円] | 16年3月に閉校した中央区旧曙小学校の跡施設を活用して、文化芸術と地域の融合を目指した、市民レベルの文化芸術活動拠点を整備します。 ○文化芸術団体と地域との交流イベント数 H18：1回 ⇒ H22：4回 |
| 厚生年金会館存続の検討 市)企画部 [21百万円] | 国によって売却が決定している北海道厚生年金会館について、芸術・文化の拠点として引き続き機能が維持される必要があることから、官民協働による取得、運営、資金調達などの枠組みを構築し、会館存続に向けた取り組みを進めます。 ○北海道厚生年金会館の存続 H18： - ⇒ H22：存続 |
| 芸術文化情報発信事業 観)文化部 [4百万円] | 市民や観光客が文化芸術活動に触れ、参加するためのきっかけづくりとして、文化情報や観光情報を集約し、分かりやすく情報を提供・発信する「観光文化情報ステーション」を地下鉄大通駅コンコースに設置します。 ○来場者数 H18：12,000人(37日間) ⇒ H22：10万人(年間) ○ホームページのアクセス(接続)数 H18： - ⇒ H22：20万回 |
| 札幌市文化芸術振興条例に基づく基本計画策定 観)文化部 [8百万円] | 文化芸術の振興に関する施策を総合的・計画的に実施するための基本計画を策定するため、市民の意見を適切に反映するための芸術家などの懇話会や市民フォーラム(討論会)の開催などを行います。 ○基本計画の策定 H18： - ⇒ H20：策定 |

*アートワーク 美術・工芸作品。

施策2 市民が自ら作り上げる文化活動の振興

市民自らがさまざまな文化芸術活動を楽しみながら実践し、市民相互の連携や市民の主体的な取り組みを促進していくために、文化芸術活動の場の支援などを行います。

また、将来の文化芸術活動の担い手の育成を支援するため、子どもが文化芸術に触れ、創作活動を行うことによって豊かな心をはぐくむことのできるよう、芸術の森に体験型施設を整備するほか、さまざまな体験活動の機会を提供します。

| 事業名・担当部 (計画事業費) | 事業内容 達成目標 |
|---|--|
| 文化活動練習会場 学校開放事業 観)文化部 [5百万円] | 音楽・演劇などの文化芸術活動を行う市内のアマチュアグループや市民などに対して、市立小学校の教室などを開放し、練習会場や創作の場を提供するとともに、利用者の利便性の向上を図るため、開放教室を増やします。 ○開放教室数 H18：21教室 ⇒ H22：24教室 |
| 舞台芸術創作活動支援 事業 観)文化部 [15百万円] | 演劇などの舞台芸術に係る創作・発表の活動拠点として、劇団が既存スペースを借り受けた場合、賃借料相当額の一部を一定期間補助します。 ○補助金申請団体数 H18：11団体 ⇒ H22：21団体 |
| 佐藤忠良関連施設整備 事業【再掲】 観)文化部 [358百万円] | 芸術の森野外美術館の敷地内に、札幌市ゆかりの彫刻家である佐藤忠良の作品を収蔵・展示するとともに、子どもが芸術に触れ、作品を創作したり、読み聞かせのできる機能を持つ体験型ギャラリー（展示室）を建設します。 ○施設開設 H18：－ ⇒ H20：開設 |
| 子どもの美術体験事業 【再掲】 観)文化部 [4百万円] | 次代を担う子どもたちに、さまざまな機会を通して美術を体験してもらうために、小学校へ芸術家を派遣したり、小学生を美術館に招待し、子どもの芸術的感性や豊かな心をはぐくみます。 ○参加児童数（累計） H18：－ ⇒ H22：3,200人 |
| 子どもの映像制作体験 事業【再掲】 観)文化部 [5百万円] | 将来の映像文化の担い手を育成するため、中学生を対象に、芸術の森など札幌の魅力ある場所を撮影舞台として、プロの指導のもと映像制作のワークショップ*を実施します。 ○参加者数（累計） H18：－ ⇒ H22：50人 |
| Kitaraファースト コンサート事業【再掲】 観)文化部 [115百万円] | 市内の全小学6年生を対象として、札幌コンサートホールKitaraで、オーケストラ演奏を鑑賞・体験する機会を提供します。 ○学校の参加率 H18：94.2% ⇒ H22：95.0%以上 |

施策3 文化遺産の保存・活用と伝統文化、先住民族文化の継承

札幌の歴史を守り伝えてきた地域の優れた自然、文化、史跡などの文化遺産を保存し、活用していくため、歴史的建築物の保全や文化財施設の整備・補修、博物館活動センターにおけるこれまでの成果の活用・発信など、必要な環境整備を図ります。

また、地域に根ざした伝統文化や先住民族文化について、広く市民への周知や市民理解を図り、保存伝承の機運を高めていくための支援や環境づくりを行います。

| 事業名・担当部 (計画事業費) | 事業内容 達成目標 |
|--|--|
| 公文書館整備基本構想策定 総) 行政部 [4百万円] | 重要な価値を有する公文書などを収集・保存し、市民の利用に供するとともに、調査研究を行う公文書館の整備基本構想を策定します。 ○公文書館整備基本構想 H18：－⇒H21：策定 |
| 都市景観重要建築物等*の保全事業【再掲】 市) 都市計画部 [30百万円] | 都市景観条例に基づき、都市景観重要建築物などの保存のための経費の一部助成を行います。また、歴史的建造物の周辺への景観的配慮を示したガイドライン(指針)の策定や景観法に基づく景観重要建造物、景観重要樹木の指定に向けた調査を行います。 ○都市景観重要建築物等の指定件数 H18：18件⇒H22：30件 |
| 文化財施設維持保存事業 観) 文化部 [186百万円] | 豊平館保存修理、時計台バリアフリー*化設備設置、清華亭耐震補強など、文化財を良好な状態で保存・活用し後世に継承していくため、適切な維持・管理に努め、計画的な整備・補修などを行います。 ○補修工事等実施施設数 H18：1施設⇒H22：5施設 ○保全改修計画の策定 H18：3施設⇒H22：7施設 |
| 博物館活動センター展示室整備事業 観) 文化部 [15百万円] | 博物館建設構想に基づき、世界最古のサッポロカイギュウ*など、さまざまな太古の札幌の姿を解明した大型動物化石総合調査の成果を活用し、市民に分かりやすく発信していくための展示空間を整備します。 ○展示室の整備 H18：－⇒H20：整備 |
| 伝統文化保存伝承事業 観) 文化部 [－] | 伝統文化などの保存伝承活動を行う団体(丘珠獅子舞保存会、アシリチェップノミ*実行委員会)に対して、事業費の補助を行います。 ○補助対象活動数 H18：2件⇒H22：2件 |
| アイヌ伝統文化活動推進事業 市) 市民生活部 [20百万円] | アイヌ民族の伝統的な生活様式や文化などを広く市民に紹介し、アイヌ伝統文化の保存・継承・振興を図るとともに、市民理解を促進します。 ○アイヌ伝統文化の振興 H18：－⇒H22：振興 |
| 札幌市アイヌ施策推進計画策定 市) 市民生活部 [10百万円] | アイヌ民族の伝統文化の保存・継承・振興などを図るとともに、アイヌ民族の歴史・文化・自然観などへの市民理解を推進し、アイヌ民族の誇りが尊重されるまちづくりの実現を目指したアイヌ施策推進計画を策定します。 ○札幌市アイヌ施策推進計画の策定 H18：－⇒H21：策定 |

***都市景観重要建築物等** 地域の歴史を物語るシンボリックな建築物や、市民や観光客から親しまれている歴史的な建築物などで、札幌市都市景観条例に基づき、市長が指定したもの。

***サッポロカイギュウ** 平成15(2003)年に札幌市南区で発見されたカイギュウ(ジュゴンやマナティの仲間、ジュゴン科ヒドロダマリス属)で、同属のカイギュウの化石としては世界最古(820万年前)のもの。

***アシリチェップノミ** アイヌ民族の伝統行事で、新しいサケを迎える儀式。

成果指標

| | 現 状 値 | 目 標 値 |
|---|------------|------------|
| 【社会成果指標】 | | |
| ・主要文化芸術施設（芸術の森・札幌コンサートホール・教育文化会館など）の利用者数 | 150万人（H18） | 180万人（H22） |
| ・市内主要イベント（PMF、札幌交響楽団公演、サッポロ・シティ・ジャズ、アートステージ）の観客者数 | 52万人（H18） | 65万人（H22） |
| ・主要文化財施設（時計台、豊平館、清華亭など）の利用者数 | 28万人（H18） | 30万人（H22） |
| ・文化芸術に関するボランティア数（サッポロ・シティ・ジャズ、ギター、PMFなど） | 159人（H18） | 500人（H22） |

各主体の主な役割



*メセナ活動 企業が芸術・文化活動に対し後援・資金援助を行うこと。

重点課題 2 スポーツを楽しむ環境の充実と健康づくりの推進

施策と事業

施策の基本方針

生涯にわたり、市民の誰もが気軽にスポーツを楽しむことができるよう、地域住民が主体となった地域スポーツクラブの育成など、多様な市民ニーズに合わせたスポーツを楽しむ環境づくりを進めるとともに、市民の健康づくりを支援します。また、冬季スポーツの拠点機能の充実を図り、札幌ならではの冬のスポーツの新たな楽しみ方を発信します。

重点課題 2

スポーツを楽しむ環境の充実と健康づくりの推進

施策1 スポーツを楽しむ環境づくり

施策2 地域でのスポーツと健康づくりの推進

施策3 ウィンタースポーツの活性化

施策1 スポーツを楽しむ環境づくり

市民が気軽にスポーツ・運動を楽しむことができる環境を整備するため、中央体育館の改築に向けた調査などを実施するほか、高齢者などが気軽に健康づくりができるよう、パークゴルフ場を都市公園や厚別清掃工場跡地などに10カ所整備します。

また、子どもの体力・運動能力の向上を目指して、身近な地域や場所での子どもの運動教室を拡大実施します。

| 事業名・担当部 (計画事業費) | 事業内容 達成目標 |
|--|---|
| 中央体育館改築事業 観) スポーツ部 [-] | 中央体育館の老朽化が著しく耐震補強も必要ことから、近年の多様なスポーツニーズに対応し、多くの市民に利用しやすい施設を目指して、改築に向けた事業計画の策定や調査を実施します。 ○整備計画策定と調査実施 H18： - ⇒ H22：計画策定と調査完了 |
| 子ども体力向上事業 観) スポーツ部 [23百万円] | 子どもの体力・運動能力の低下が指摘されていることから、公共施設や学校体育館など身近な場所での運動教室の実施や、発達段階に合わせた運動プログラムの開発、指導者の養成などを行います。 ○運動教室数 H18：モデル2教室 ⇒ H22：全市で100教室 ○指導者の養成数(累計) H18：5人養成中 ⇒ H22：50人 |
| パークゴルフのできる公園整備事業 環) みどりの推進部 [-] | パークゴルフが高齢者などの健康と生きがいに大きく寄与していることから、都市公園内にパークゴルフ場を整備します。 ○都市公園内のパークゴルフ場のコース数 H18：47コース ⇒ H22：52コース |
| 厚別清掃工場跡地パークゴルフ場等整備事業 厚) 市民部 [84百万円] | 厚別区暫定利用検討委員会からの提言書(H18.4)を受け、厚別清掃工場跡地に、パークゴルフ場と芝生広場を整備します。 ○パークゴルフ場 H18： - ⇒ H21：供用開始 |

施策2 地域でのスポーツと健康づくりの推進

市民の「する」スポーツの振興を図るため、地域に出向いてさまざまなスポーツ活動の機会を提供する事業を展開したり、市民による札幌らしい総合型地域スポーツクラブ*の設立を促進するなど、地域密着型のスポーツの普及・啓発を行います。

また、地域での市民の健康づくりを進めるため、「健康さっぽろ21」の後期計画の推進や、生活習慣病*対策の一環としてウォーキングなどの定着を図るなど、市民一人ひとりの健康づくりを支援します。

| 事業名・担当部 〔計画事業費〕 | 事業内容 達成目標 |
|---|--|
| さっぽろスポーツキャラバン*隊事業 観) スポーツ部 [24百万円] | 市民が気軽にスポーツ活動に参加し体験できるよう、さまざまなスポーツメニューを用意して地域に出向き、公園や学校など身近な場所で、楽しむスポーツの普及・啓発を図ります。 ○参加人数 H18：－ ⇒ H22：4,000人 |
| 地域スポーツクラブ支援事業 観) スポーツ部 [11百万円] | 市民の主体的な運営・活動による札幌らしい総合型地域スポーツクラブの設立を促進するため、地域スポーツ団体などに対して組織づくりの支援や、事業プログラムや運営ノウハウの提供などを行います。 ○総合型地域スポーツクラブの設立 H18：1カ所 ⇒ H22：5カ所 |
| 「健康さっぽろ21」推進事業 保) 健康衛生部 [6百万円] | 「健康さっぽろ21（札幌健康づくり基本計画）」を推進し、市民の主体的・継続的な健康づくりを支援するための環境づくりを進めます。また、19年度に実施する中間評価により健康づくりの現況と今後の課題を示し、計画最終年度の24年度に向けて、重点的な施策・取り組みを進めます。 ○健康づくり応援企業・店舗数* H18：1,227件 ⇒ H22：2,000件 |
| 市民健康づくりサポート事業 保) 健康衛生部 [18百万円] | 平成20年度からの医療制度改革に向けたメタボリック*対策に重点をおき、市民一人ひとりの健康づくりを支援します。 ○ウォーキング実践指導ボランティアの育成人数 H18：－ ⇒ H22：200人 |
| 豊平スポーツ・健康づくり応援事業 豊) 市民部 [14百万円] | 地域の大学生や地元住民と協働した各種スポーツイベントの開催などにより、区民のスポーツ振興と健康増進を図るとともに、地域住民や商店街などと協働でファイターズ、コンサドーレ応援イベントを開催し、地元住民の連帯意識の醸成や相互交流を促進します。 ○スポーツイベント等参加者数 H18：700人 ⇒ H22：1,000人 ○ファイターズ、コンサドーレ応援イベント参加者数 H18：2,000人 ⇒ H22：5,000人 |

- ***総合型地域スポーツクラブ** 主にヨーロッパ諸国などに見られる地域スポーツクラブの形態で、地域において、子どもから高齢者までさまざまなスポーツを愛好する人々が参加できる、総合的なスポーツクラブのこと。
- ***生活習慣病** 長年の好ましくない生活習慣によって引き起こされる慢性的な病気。糖尿病、高血圧症、高脂血症、肥満、脳卒中、心臓病などがある。
- ***キャラバン** 特定の目的のために、隊を組んで遠征したり各地を回ること。
- ***健康づくり応援企業・店舗数** メニューの栄養成分表示を実施している外食料理店や、禁煙・完全分煙を行っている施設・企業のほか、市民の健康づくりに役立つ情報提供などに取り組む企業・店舗の数。
- ***メタボリック** 内臓脂肪型肥満に加えて高血糖、高血圧、脂質異常の2つ以上を合併した状態。

施策3 ウィンタースポーツの活性化

札幌ならではの特性を活かし、市民のウィンタースポーツへの関心を高め、ウィンタースポーツ活性化のための取り組みとして、冬季スポーツ競技団体や民間の組織・団体との連携によるさまざまなウィンタースポーツ体験事業を展開するほか、小・中学校でのスキー学習への支援などを行います。

また、ウィンタースポーツミュージアムにおける体験装置や展示のリニューアル、情報発信機能の強化によって、ウィンタースポーツの拠点施設としての再整備を行います。

| 事業名・担当部 (計画事業費) | 事業内容 達成目標 |
|---|--|
| ウィンタースポーツ振興事業 観)スポーツ部 [10百万円] | 低迷傾向が見られるウィンタースポーツの活性化を図るため、ウィンタースポーツ体験キャンペーンを展開するほか、学校教育と連携した小・中学校でのウィンタースポーツ体験事業などの普及啓発を行います。 ○ウィンタースポーツをする人の割合 H18：13% ⇒ H22：20% ○ウィンタースポーツ体験事業数 H18：2事業 ⇒ H22：20事業 |
| ウィンタースポーツミュージアム体験装置・展示品リニューアル 観)スポーツ部 [132百万円] | コンピュータ技術の進歩や機器の老朽化により更新が必要となっているジャンプシミュレーターなど模擬体験装置の改修や、展示品の収集・更新などを行い、ウィンタースポーツの拠点機能の充実を図ります。 ○観覧者数 H18：121,946人 ⇒ H22：133,800人 |

成果指標

| | 現 状 値 | 目 標 値 |
|------------------------------|-------------|-------------|
| 【市民意識・行動指標】 | | |
| ・週に1回以上スポーツ（運動）を実施する人の割合（成人） | 30.5%（H18） | 50%（H22） |
| ・直接スポーツ観戦をする人の割合 | 46.8%（H18） | 60%（H22） |
| ・自分の健康状態をふつう以上と感じる人の割合（成人） | 77.8%（H18） | 85%（H22） |
| 【社会成果指標】 | | |
| ・健康づくり応援企業・店舗数* | 1,227件（H18） | 2,000件（H22） |

各主体の主な役割

市 民

- 健康度の把握
- 家庭でスポーツを楽しむ環境づくり
- スポーツクラブ、イベント、地域の健康づくり活動への参加 など

企業・プロスポーツクラブ等

- 地域に根ざしたスポーツ活動の推進
- 企業チームやプロの選手による地域への指導・交流
- 職場での健康管理や健康教育・相談の実施
- 良質な健康関連商品・サービスの提供 など

保健医療関係団体・大学

- 専門的な相談・研究・情報提供
- 地域の健康づくり活動との連携 など



NPO*・競技団体・地域のスポーツ団体等

- 地域スポーツクラブづくりに向けた活動の多様化、団体相互の交流活動
- 家族や初心者対象のスポーツ教室の実施
- 健康づくりについての学習・実践の場や機会の提供 など

行 政

- スポーツや健康づくり活動の総合的な情報提供、指導者派遣のしくみづくりや調整
- スポーツ振興施策が円滑に進むための調整（コーディネート）
- スポーツや健康づくり活動を支援する環境の整備 など